

公明党の取り組みを振り返る (へ上)

スクールランチから給食へ

横浜市会議員 仁田まさとし

横浜市の市立中学校で
は昨年4月に「選択制デ
リバリー型」の給食が始
まり、利用者が着実に増
えています。公明党は昼
食環境充実に約25年間取
り組んできました。これ
までの歩みを2回にわ
たって紹介します。

らの「愛情弁当」が基本
でしたが、平成以降の男
女共同参画社会の進展や
社会の変化に伴い、昼食
環境の整備に関する要望
が多くなりました。

公明党市議団は199
3年に始まった名古屋市
の「スクールランチ」を
視察するなど、他都市の
事例を調査。96年にス
クールランチの草案作り

昼食の構想を開始

中学校の昼食は家庭か



仁田まさとし プロフィール

- 健康福祉・医療委員会
- デジタル化推進特別委員会

◇施政方針は「動く、創る、変える。」
ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>
ライン 情報発信中

らに「愛情弁当」が基本
を開始。基本的な考え方
を①民間委託による校外
調理方式②家庭弁当との
選択制③メニューは複数
から選択可能——としま
した。

パン・弁当の販売

スクールランチの実施
には時間がかかるため、
弁当を準備できない家庭
の支援を主張し、対応を
求めました。それによ
り、97年からパンや牛乳
の自動販売機を設置し、
徐々に拡大。99年に希望
者が地元業者の弁当を購
入できる仕組みを導入
し、2006年には約9
割の学校で業者弁当の販

売が可能となりました。
市側が検討開始
市教育委員会にスクー
ルランチへの理解を求め
ることも力を入れました。
その結果、2001
年度予算に「中学校ふれ
あい昼食検討調査費」が
計上され、検討委員会
で検討が始まりました。

市民要望と法改正

2001年にはスクー
ルランチの実施を求める
市民の皆様と当時の高秀
秀信市長に要望書を提
出。05年に食育基本法が
施行され、08年には学校
給食法が改正されるな
ど、学校給食の主な目的
は栄養改善から食育に転
換され、給食に求められ
る役割も変化しました。
その後も具体的な進展
が見られない中、公明党

「ハマ弁」スタート

市は14年12月に「横浜
らしい中学校昼食のあり
方」をまとめ、小学校の
ような自校方式やセン
ター方式での実施は困難
として、「栄養バランス
のとれた温もりのある昼
食」を提供する最適な方
法として、横浜型配達弁
当「ハマ弁」が17年1月
から始まりました。
(9月15日号に続く)